

第1回東海村農業公社（仮称）設立基本構想策定委員会会議録

1	開催日時	平成26年11月14日(金) 15時45分から17時10分まで
2	場所	役場行政棟5F 原子力視察研修室
3	出席者	岩田委員, 小林委員, 川崎委員, 照沼委員, 永井委員, 佐藤(次)委員, 根本(一)委員, 埜委員, 鈴木委員, 清水委員, 根本(正)委員, 佐藤(康)委員, 作山委員, 設楽委員, 黒田委員, 石井委員 (16名)
4	欠席者	菊池委員 (1名)
5	公開又は非公開の別	公開
6	非公開の理由	
7	議題	(1) 正副委員長の選任について (2) 農業公社（仮称）設立基本構想策定について (3) 委員会の今後の進め方について
8	配布資料	委員会設置要綱, 委員名簿, 東海村の農業について, アンケート調査の結果について, 農業公社の概要, 今後のスケジュールについて
9	発言内容	(1) 正副委員長の選任について ・特に意見なし。 (2) 農業公社（仮称）設立基本構想策定について ・公社設立が確定していない中で議論しても意味がない。設立をすることが確定していて, その方法をどのようにするかを検討する場でなければ無意味だ。 ・公社の組織は株式会社を想定するが, 村からの財政支援は出来ないということでは, 最初から経営困難となることが見えている。農業経営は非常に苦しいのが現実で, 村の財政支援なしでは経営不可能だ。 ・なぜ株式会社を設立するのか? 財団や社団等の公的性格の組織ではダメなのか? ・作業受託や機械のリースだけの活動をする法人という選択肢もある。 ・公社設立を議論することで, 現在の農業生産法人が如何に経営が厳しいか, 理解してもらうということでは検討の価値がある。公社の経営が成功すれば全国から注目される。
10	結果	(1) 正副委員長の選任については, 委員長には設楽隆久委員, 副委員長には菊池和人委員が選任された。 (2) 公社設立基本構想については, 次回の委員会において法人形態別の経営比較を協議することとなった。 (3) 今後の進め方については原案どおり決定された。